

## 令和7年度 運営会議で協議・検討を実施した地域課題について

### 1 地域課題への取り組みについて

自立支援協議会は、地域の関係者が集まり、個別の相談支援の事例を通じて明らかになった本人・家族・地域の課題を共有し、その課題を踏まえて地域のサービス基盤の整備を着実に進めていく役割を担っています。また、基盤整備を進めていくため、各専門部会や運営会議における協議内容を地域の関係者が集まる全体会の場で発信していく仕組みとなっています。

そこで、第2回明石市地域自立支援協議会では、各専門部会や運営会議で協議を行った事例を通して地域課題の確認及び意見交換を行います。

### 2 令和7年度の地域課題について

相談支援専門員より以下のケース報告を受け、各専門部会や運営会議において協議を行ってまいりました。

報告内容	中学生の軽度知的障害者のAさんは、「好きなことだけをしていたい。」と考えており、動画サイトやゲームは時間を忘れるほど熱中しているが、学校や放課後等デイサービスの利用に消極的な状況である。 Aさんの母親は、動画サイトやゲーム以外に、様々な経験を積んで、将来は自立して欲しいと願っている。
地域課題	学校や障害福祉サービス以外で、様々な経験を積む方法として、趣味活動や習い事なども考えられる。しかし、障害のある子どもが、気軽に参加できる環境が整っているとは言えないのではないか。

### 3 地域課題の検討内容

障害のある子どもたちがやってみたいと思える経験や楽しみを広げていくために、『知らない』を『知っている』に変えていくことが必要です。どのような取組が考えられるか各専門部会で意見交換を実施しましたので、共有いたします。

(1)くらし部会での検討内容

取組先	内容
地域・事業所での取組	○障害の有無にかかわらず受け入れしている習い事が地域にはある。本人の了承を得た上で、配慮してもらえる仕組みや考え方を整理していく。
家族に対する取組	○身の回りのことをどれくらいできるのかを把握する。ゲーム感覚でできるように工夫するなど、生活習慣を身につけることから始めてみる。 ○経験できる場・機会を多機関で考えていく。

(2)しごと部会での検討内容

取組先	内容
地域・事業所での取組	○有償ボランティア活動等への参加機会を創出する。 ○就労系事業所の「1日密着型」の動画等を作成し、興味を持てるような情報提供を行う。
本人に対する取組	○ネット関係の就労継続支援B型の見学会を開催し、関心に沿った就労体験の機会を提供する。 ○ゲームイベント等への外出を通して、自宅以外での活動機会を創出する。
家族に対する取組	○保護者が子ども中心になりすぎないように、保護者自身の楽しみや関心を持てるよう家族支援を行う。

(3)こども部会での検討内容

取組先	内容
部会でできる取組	○こどもが興味を持つような障害児通所支援事業所の特色がわかるような情報提供を行う。
地域・事業所での取組	○こども食堂、みんな農園など、地域資源に気軽に参加できる仕組みづくりを行う。 ○保育所等訪問支援事業を活用した他機関連携の実施。
家族に対する取組	○父親を含めた多様な家族支援を検討する。 ○ペアレント・トレーニングなどによる早期支援を実施する。